

確かな学力を育て、豊かな人間性を培う
 ウェルビーイングを目指し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進
 「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」

1 はじめに

学校教育は、児童が心豊かでたくましく生きる力を備え、調和のとれた人間としての成長を具現化することに目標がある。そこで、栄小学校の49年の歴史と伝統並びに特色ある地域性、そして児童の実態に即しながら、「生きる力」すなわち、将来、幸福な人生を歩むために必要な自立する力を身に付けた児童の育成に努める。

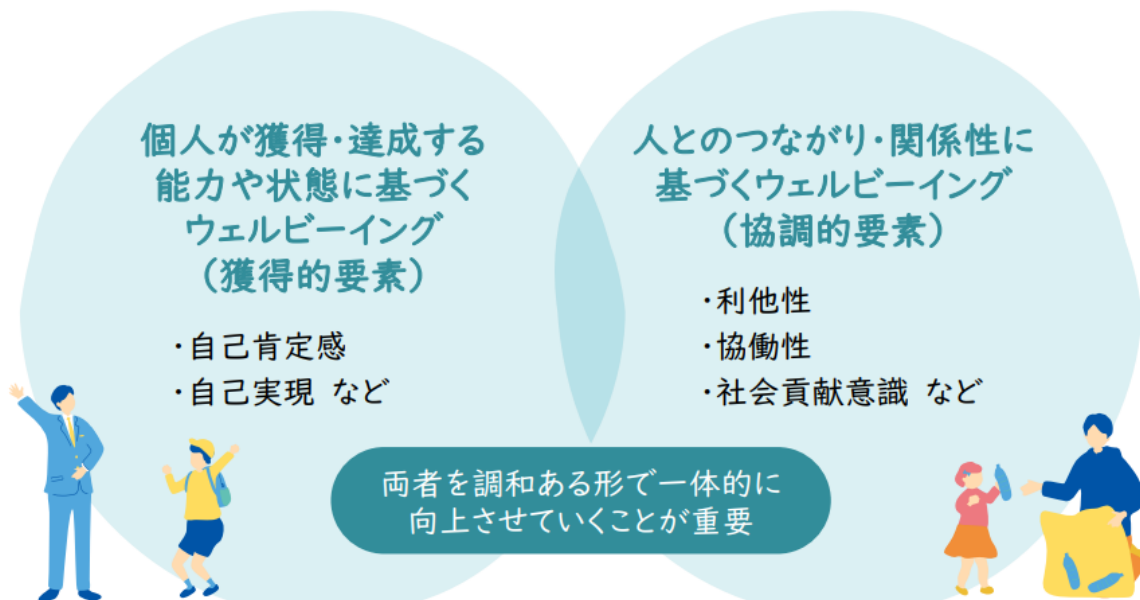
令和5年閣議決定された「第4期教育振興基本計画」には今後の教育の方向性を示す羅針盤となるべきものを目指し、「持続可能な社会の作り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が2つの大きなコンセプトとして示されている。

ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態であることを表し、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念である。また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念でもある。

第4期教育振興計画で示されている日本社会に根差したウェルビーイングの向上とは「自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させることである。※1

そこで栄小では、小規模な学校ならではの「協働性」をより一層高めて、全教職員のウェルビーイングも大切にしながら「チーム栄小」として一丸となり教育活動に取り組む。また「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」を合い言葉として、計画的、組織的に一人一人の児童の「調和と協調」に基づくウェルビーイングの向上を目指す。そして、多様な学びにより、学ぶ楽しさを味わわせる教育活動を推進し、確かな学力を育て、児童・保護者・地域の人々に信頼される学校づくりを目指す。

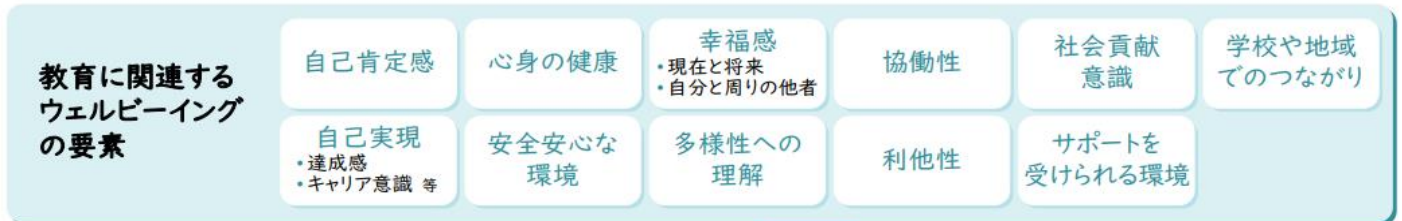
※1 第4期教育振興基本計画リーフレットより（令和5年6月16日閣議決定）
 「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」



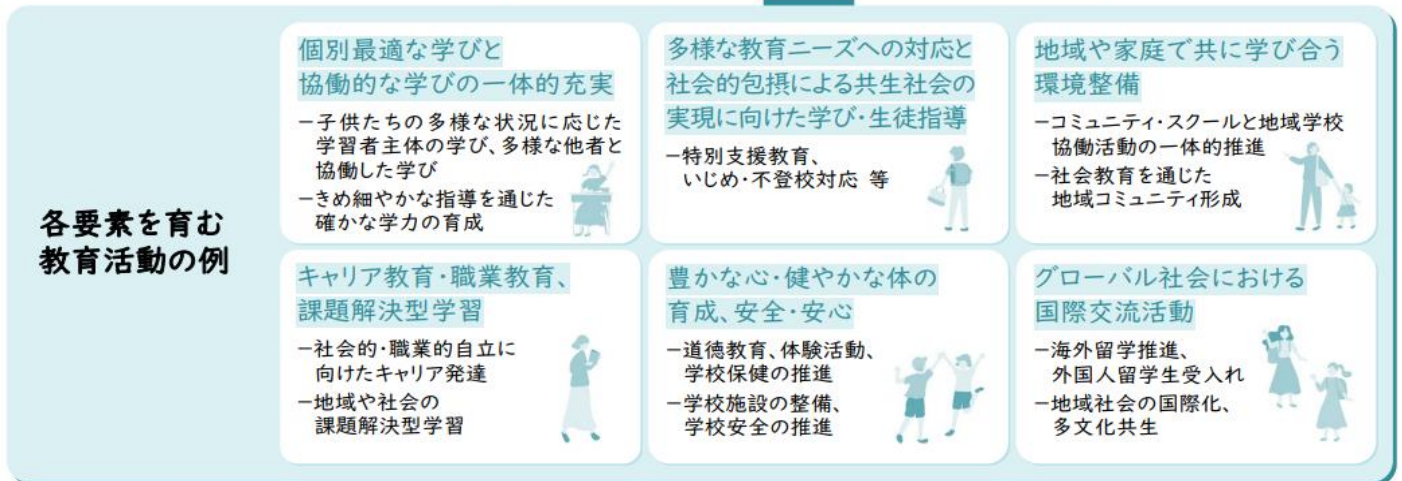
教育とウェルビーイング

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

- 不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要
- 子供・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要
- 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成



教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上



主観的認識のエビデンス把握

教師のウェルビーイング、 学校・地域・社会のウェルビーイング

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

子供たちのウェルビーイングを高めるためには教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。また、子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。



2 学校教育目標等

学校教育目標		
確かな学力を育て、豊かな人間性を培う		
目指す学校像		
ウェルビーイングを目指し、児童・保護者・地域に信頼される学校 合言葉「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」		
目指す児童像		
「さわやかな子」 「かしこい子」 「えがおのある子」		
目指す教師像		
「栄プライド」※3 を実践している教師 —積極的な生徒指導・発達支持的生徒指導ができる教師— ウェルビーイングを考える教師 —児童、保護者、地域、教職員それぞれのウェルビーイングを尊重する教師—		
具現化の視点と内容（特色ある学校づくり）		
さわやかな子	かしこい子	えがおのある子
「自立する力と自律の心」 を育む	「豊かな創造力」を育む	「優しい想像力」を育む
育成を目指す児童の資質能力 学んだ知識・技能や体験から見つけた課題に向き合い、創造力や想像力を発揮して解決しようとする児童の育成		
<p>★①体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の取組の充実（なわとびチャンピオン等） ・体育の授業のより一層の充実 <p>②保健・安全教育、食育の充実と安全管理の徹底</p> <p>③進んで挨拶、場に応じた言葉遣いの指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ名人、達人」を目指す気運の醸成 <p>★④デジタル・シティズンシップ教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄小GIGA宣言の徹底（端末使用時の約束） ・デジタル社会の善き担い手の育成 <p>⑤整理整頓、黙動清掃など学校美化や心の浄化への取組</p> <p>★⑥教育相談的な生徒指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KOKORO タイム」の活用 ・いじめ防止のための取組 	<p>①栄小学習スタイルの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の共通指導 ・ねらいの提示と振り返りの実施 <p>★・指導と評価の一体化</p> <p>②学力テストを活用した児童の実態把握による学力向上策の策定</p> <p>★③主体的・対話的で深い学びの指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・ICT 機器の積極的な活用 ・キュビナ（知識・技能の習得）、ロイロノート（思考力・判断力・表現力） ・自由進度学習の充実（算数を中心として） <p>★④探求的な学びの指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく、主体的に学ぶ授業の展開 <p>⑤育成を目指す資質能力を焦点化したカリキュラム・マネジメント</p> <p>⑥多様な学びの場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流・地域での学び ・教科担任、チーム担任 	<p>★①道徳教育、道徳科の時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性の伸長、希望と勇気・努力と強い意志、親切・思いやり、礼儀、規則の尊重、生命尊重を重点 ・情報モラルやSDGsとの関わり <p>★②児童を主体とした、体験活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の充実 ・創立50周年記念行事 <p>③キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの継続 <p>④読書環境の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書100冊・1万ページの表彰 ・新座市必読 図書の読破 <p>⑤オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの継承（多様性と共生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツの取組 ・日本文化の理解（おもてなしの心） ・SDGsの理解、取組 <p>★⑥生活科・総合的な学習の時間や校外学習における体験活動の充実</p>
<p>★特別支援教育</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子供一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な教育を提供するための相談体制や指導体制の整備 (2) 個に応じた適切なカリキュラム（個別の指導計画等）の作成と確実な情報共有 (3) 障がいの有無、個々の違いを認識した共生社会の一員としての意識の醸成（インクルーシブ教育への理解） 		
<p>★家庭・地域との積極的な連携</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校運営協議会の開催 (2) 地域人材（学校応援団・学習支援ボランティア等）の活用、地域行事への参加 (3) 積極的な授業公開（オープン授業） (4) HPの充実 		

※3 「栄プライド」とは

栄小学校の学校力をより一層向上させるために、教職員としてもつべき意識を明文化したもの。

【学習指導・生活指導】 私は児童一人一人の伸びを認め、適切な支援や評価をします。
 【教育相談】 私は公平な目をもって、児童一人一人に寄り添います。
 【研修】 私は児童の豊かな学びの実現のため、日々研修に励みます。
 【保護者、地域との連携】
 私はコミュニティ・スクール栄小の一員として、笑顔で誠実に対応します。
 【信用失墜行為の禁止・信頼関係づくり】
 私はいつも心にゆとりをもち、児童の模範となるべく行動をします。

3 学校研究（令和7年度）

令和7年度 新座市教育委員会委嘱（3年目）

「確かな学力を育てる ～本気の課題に向き合い

未来を『そうぞう』する』～

〈研究計画の概要〉

<p>1年目 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究組織の編成 ・研究テーマの設定 ・研究の進め方の確認 ・指導者の選定、依頼 ・年間指導計画の見直し <p>研究経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者：若村健一様 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課教育課程総括係) ・夏休みの研修（講話） ・研究仮設、目指す児童像の設定 ・生活科・総合的な学習の時間研究授業 学年ブロックごとに研究授業 低学年・・・2年2組 「うごく うごく わたしの おもちや」 中学年・・・3年1組 「平和な未来をつないでいくために」 高学年・・・6年2組 「実社会で働く人々の姿と自己の将来 ～理想の自分に近づくためにできることは～」
<p>2年目 (令和6年度) 研究経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の作成 ・評価計画の作成 ・夏休みの研修（講話） ・指導者：塚田昭一様 (十文字学園女子大学教育人文学部児童教育学科教授) 若村健一様 (戸田市教育委員会教育政策室指導担当主幹兼指導主事) ・生活科・総合的な学習の時間研究授業 ブロックごとに研究授業 低学年・・・1年1組「もうすぐ2年生」 中学年・・・3年1組「大好き！栄」 高学年・・・5年2組「食生活を豊かに」
<p>3年目 (令和7年度) 〈研究発表会〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科・総合的な学習の時間研究授業 学年ごとに研究授業 ・研究発表会 令和8年1月20日